

# 日本英学史学会 中国・四国支部

## ニューズレター

### No.66

*Historical Society of English Studies in Japan, Chugoku-Shikoku Chapter*

<エッセイ>

## 版を重ねる

馬本 勉

出版物を調べる上で注意しなくてはならないのは、「版」という言葉の使い方だ。例えば辞書。初版に改訂が加えられ、版が改められると新版、あるいは改訂版となる。その後も引き続き改訂が行われると、やがて新版や改訂版は「第2版」と呼ばれるようになり、「第3版」「第4版」と続いていく。

改訂を伴わず、単に刷り増しをする場合は「刷」を用いる。「版」を英語で *edition*、「刷」は *impression* (あるいは *printing*) だ。手許の *POD (Pocket Oxford Dictionary)* の一つに、*Fifth Edition* の *Fourth Japanese Impression* がある。第5版は1969年に出ているが、この「日本刷の4番目」は1972年。版元は *Oxford University Press* だが、この「日本刷」は東京都文京区の *Akatsuki Art Printing Co., Ltd.* による。

ベストセラーや人気の高い参考書などは、刷の数が3桁であることも珍しくない。私が受験期に使った森一郎氏の新書版参考書は、767刷だ。倉田百三『出家とその弟子』は、さすがに大正期のベストセラーだけあって、手許のものは100刷を超えている(正確には「124版」、刷ではない)。

上の例でも分かる通り、「版」と「刷」は、しばしば混同して用いられる。明治期の独習書の場合、「第〇〇版」といった表記に出会うことが多い。ニューズレターNo.58で紹介したように、修正を施したのものもあるが、改訂の跡が見られなくても「版」と呼んだようだ。一方で、マイナーな改版を「刷」として扱う現代の辞書もある。

いずれにしても、刷や版の数値が大きくなるということは、それだけ多くの部数が出回り、新たな印刷を繰り返していることの証である。だから「版を重ねる」というのは、出版物にとっては喜ばしいことなのである。

ところが、明治期の出版物には、このような版の重ね方ではないものが少なくないことに気づいた。同じ本が著者名も書名も変えて現れる、という現象だ。

ウェブスター『スペリング・ブック』の独習書の一つ『英学辞訓：一名・スペリング独学』(浦谷義春、明治5年)は、それから14年後、別の書名で別の人物が出版した。浦谷は36課分を、後の版は54課に増えている。『改正増補ウェブスター氏スペルリング独案内』(小西直治郎、明治19年)は、明治20年までの半年間に、少なくとも別の著者4名が、4種の新たな独案内として出版している。同じ書名を用いている1冊を除き、別の書名に変わっている。扱われた課の数は、全く同数のものと、数を減らしたものとがある。

こういう版の重ね方は、今は「海賊版」と呼ばれるのだろう。日本で出版された英書海賊版については、前々号で田村道美先生が触れられているが、国内の出版物にも、その手の「翻刻」が多数存在したというわけだ。

しかし、これほど大っぴらに行われているのを見ると、二匹目のドジョウを狙う単なる著作権侵害ではなく、こうした版の重ね方に何らかの合法的な手続きが存在したのではあるまいか、と思ってしまう。

いずれにせよ、それほどまでに世の中は「英学ブーム」であったのだ。多くの学習者が各々手にした「版」がある。そのことに思いを馳せるのもまた、英学史研究の楽しみである。

(県立広島大学／中国・四国支部事務局長)

## 平成23年度 日本英学史学会 中国・四国支部 総会

### 第1回(通算64回) 研究例会のご案内

拝啓 新緑の候、会員の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より当支部の発展のために温かいご支援とご協力をいただき心から感謝申し上げます。

さて、平成23年度支部総会、及び第1回(通算第64回) 支部研究例会を下記の要領で開催いたします。今回の研究例会では、2本の研究発表が予定されています。お誘いあわせの上ご参集くださいますよう、ご案内申し上げます。

末筆ながら、会員の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

敬具

日本英学史学会 中国・四国支部

日 時： 2011年5月28日(土) 12:30 受付開始
会 場： 県立広島大学 教育研究棟1(1階) 1175 講義室
〒734-8558 広島県広島市南区宇品東1-1-71 TEL 082-251-5178 (代)
参加費： 会員、非会員とも無料

#### 支部総会 (13:30~13:50)

議長選出、前年度活動報告、会計報告、会計監査報告、  
平成23~24年度役員選出、新年度活動計画、他

#### 開会行事 (14:00~14:10)

支部長挨拶

#### 研究発表① (14:10~15:20)

『英語発音秘訣』の著者・菊池武信の英語習得」

安 部 規 子 (有明工業高等専門学校)

休憩 (15:20~15:30)

#### 研究発表② (15:30~16:40)

「明治期の英語読本独習書に関する研究：ウィルソン・リーダー独案内を中心として」

馬 本 勉 (県立広島大学)

#### 感想記入 (16:40~16:45)

#### 閉会行事 (16:45~17:00)

副支部長挨拶、写真撮影

#### 懇親会 (18:00~20:00) 広島市内の会場にて (会費 4,000円程度)

## 研究発表の概要

### ①『英語発音秘訣』の著者・菊池武信の英語習得」

安部 規子 (有明工業高等専門学校)

日本で初めて日本人のための英語発音の手引き書を書いた菊池武信については、履歴書の発見によって多くのことがわかったが、彼自身がどうやって英語を学習したかという最も重要な疑問は残されたままだった。本発表では、新たな資料に基づいて菊池の英語習得に関する調査結果を報告する。

### ②「明治期の英語読本独習書に関する研究：ウィルソン・リーダー独案内を中心として」

馬本 勉 (県立広島大学)

明治初年の国語教科書『小学読本』の原本である『ウィルソン・リーダー』は、英語教科書としても広く用いられ、翻刻版や独習書も多数出版されているが、その独習書に関する研究は十分ではない。発表者はこれまでに、ウェブスターの『スペリング・ブック』やバーンズの『ニュー・ナショナル・リーダー』の独習書について調査を行ってきたが、それらとの比較を交えながら『ウィルソン・リーダー』独習書の分析を行い、全容解明の第一歩としたい。

### 研究例会会場への交通案内

(県立広島大学ホームページ <http://www.pu-hiroshima.ac.jp/>より)

#### ●広島駅から

- ・【バス】広島バス「31号(翠町線)」にて  
「県立広島大学前(広島キャンパス)」下車—  
徒歩1分

- ・【市内電車】[5番] 広島港(宇品)行きにて  
「県病院前」下車—徒歩7分

#### ●バスセンター(紙屋町)から

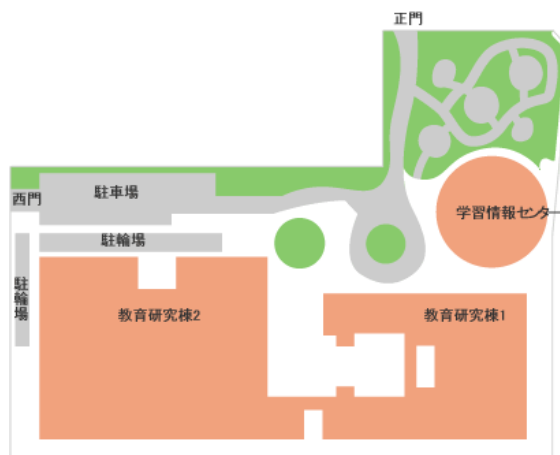
- ・【市内電車】[1番][3番] 広島港(宇品)行きにて  
「県病院前」下車—徒歩7分

#### ●広島港(宇品)から

- ・【市内電車】[1番][5番] 広島駅行き  
又は[3番] 広電西広島(己斐)行きにて  
「県病院前」下車—徒歩7分

#### ●八丁堀(天満屋前)から

- ・【バス】広電バス「12号線(仁保沖町)」にて  
「県立広島大学前(広島キャンパス)」下車—徒歩1分



※広島キャンパスの正門を直進すると、正面に「教育研究棟1」の入口があります。

## 中国・四国支部ニュース

### >> 事務局よりお知らせとお願い

#### ①名簿の改訂について

「会員登録内容の確認について」を同封しています。変更のある方は5月20日(金)までにお知らせください。合わせて、総会・例会・懇親会(5月28日)の出欠についてもご回答をお願いいたします。

#### ②会費の納入について

5月28日(土)の研究例会へご参加の方は、平成23年度年会費(一般3,000円、学生2,000円)を受付でお支払いください。その際に『英學史論叢』第14号、および今年度の名簿をお渡しする予定です。ご欠席の方へは、例会終了後、今年度の紀要、名簿とともに、年会費用の振込み用紙をお送りします。

昨年度未納の方へは、2年度分をご請求申し上げます。続けて未納の場合は2年めの年度末をもって「自然退会」となりますので、ご理解のほど、よろしくをお願いいたします。

#### ③紀要掲載料について

『英學史論叢』に掲載された「研究論文」「研究ノート」の執筆者の方は、研究例会受付にて掲載料をお支払いください。規定の10ページまでは3,000円、超過分1ページ当たり1,000円をお願いいたします。

#### ④研究発表者を募集します

年2回開催される研究例会での研究発表(口頭発表と質疑応答をあわせて1時間程度)を随時受け付けています。ご希望の方は事務局までお知らせください。

今年度第2回研究例会は12月10日(土)、岡山県津山市にて開催を予定しています。

## 英学史情報ひろば

- ◇「Cairdeas」(コージャス〈友情〉)：山陰日本アイルランド協会会報 第15号(2009年12月)、第16号(2010年12月)[小泉凡先生より]
- ◇第128回「広島ラフカディオ・ハーンの家」ニュース(2011年4月)[風呂鞆先生より]
- ◇田邊祐司先生の「基礎英語1」(NHK ラジオ)がスタートしました(2011年3月28日～)。
- ◇日本英語教育史学会第27回全国大会：9月17日(土)・18日(日)、県立広島大学にて開催予定。

## 英学史学会全国ニュース

### >> 「日本英学史学会報」No.124 (5月1日付)

「会長就任のご挨拶」北垣宗治  
(史に聴けば)

「『英学史的問題状況』とはなにか：小山晃佑神学を例にして」堀 孝彦

(新入会員紹介)〈支部活動報告〉ほか

※「日本英学史学会報」No.124には、支部活動報告として、中国・四国支部ニューズレターNo.65、第1回支部例会日程、『英學史論叢』第14号の発行予定等が掲載されています。

※閲覧希望の方は支部事務局までご連絡ください。

### >> 第48回全国大会

平成23年度の日本英学史学会全国大会は、10月8日(土)～10日(月)、東京家政大学板橋キャンパスを会場に開催されます。

※日本英学史学会(本部)の会員登録には、中国・四国支部とは別に手続きが必要です。詳細は以下の日本英学史学会ウェブサイトをご覧になるか、支部事務局までお問い合わせください。

(日本英学史学会ウェブサイト)

<http://www.tokyo-kasei.ac.jp/~shinoda/eigakushi/>

**広島英学史の周辺(32)** 東日本大震災で被災された皆様、今なお不安な日々をお過ごしの皆様、心よりお見舞い申し上げます。▼『英學史論叢』第8号(2005)所収の「ハーンと防災教育」(英学史随想)において、風呂鞆先生は、ハーン作品“A Living God”から tsunami という英単語が生まれ、「防災教育における不朽の名作」として認識が高まっていることを紹介された。▼あれから6年。その前年に起きたスマトラ沖地震と津波の映像も衝撃的だったが、今回の震災で、津波がいかに恐ろしいものであるか、改めて知った。今はただ、被災地の一日も早い復興を願うばかりである。(馬)

日本英学史学会 中国・四国支部ニューズレター No. 66

2011年5月8日発行

発行 日本英学史学会中国・四国支部(代表 竹中龍範)

事務局 〒727-0023 広島県庄原市七塚町562

県立広島大学 馬本研究室内

電話&FAX: (0824) 74 - 1725 (直通)

e-mail: eigaku@tom.edisc.jp

ホームページ <http://tom.edisc.jp/eigaku/>

郵便振替口座 01360-9-43877 日本英学史学会中国・四国支部

Newsletter No.66